

## STEP 1-2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

- ・特定健康診査事業について、被保険者は、事業主が100%実施を目標に実施しており、被保険者の意識も徹底している。
- ・被扶養者は、受診者が少ない。特定健診全額健保負担としていますが、健診内容に物足りなさがある。被扶養者への健診案内が被保険者経由のみとなっている。⇒受診内容の充実（婦人科検診を含む）、受診場所の選択肢を多くする。被扶養者へ直接案内物を送付する。28年度より巡回健診（婦人科検診を含む）を実施。
- ・特定保健指導について、千葉県内に各事業所を展開しているため、保健指導対象者の少ない拠点及び、遠方の拠点の実施に問題がでている。⇒28年度より重症化予防対象者も含め実施することで、対象者数を確保。
- ・人間ドック等の案内や保健情報提供方法が社内イントラのみとなっている。健保財政が厳しい中、パンフレット等の費用もかさむので、被扶養者への告知方法に工夫が必要。⇒29年度ホームページ開設。

### 事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	その他の職場環境の整備
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	保健情報提供
保健指導宣伝	宣伝専費分担金
保健指導宣伝	特定保健指導の巡回指導
疾病予防	健康電話相談
体育奨励	ラフォーレ倶楽部の活用
その他	テニスコート用
個別の事業	
特定健康診査事業	メタボリックシンドローム対策
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	日帰りドック健診
疾病予防	脳ドック
疾病予防	大腸疾患検査
疾病予防	特定健診
疾病予防	保健指導
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	職場救急薬の補充
取組の取組	
1	その他

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
予算指額なし	1	その他の職場環境の整備	職場における健康づくりを促す仕掛けや加入者が健康づくりに自主的に取り組みやすい環境を整備する取り組み	-	-	-	-	-	健康経営優良法人(ホワイト500)に事業主2社が認定された。	保健指導の実施及び特定保健指導実施機会の提供に関する取り組み(事業主からの特定健診データの提供、保健指導実施場所の提供) 従業員の感染症予防に向けた取り組み(インフルエンザ予防接種補助)	-	4	
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	4	保健情報提供	【目的】健康意識の醸成および健診結果の理解を促す 【概要】健診結果およびリスクに基づく個性の高い健康情報誌を配付	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	けんぽだより発行 3月、8月 医療費通知 毎月	イントラネットやインターネットによる発信で、掲載したことの内容をしていない。	無関心層に対する伝達。 イントラネットやインターネットで発信されている内容を関心を持って見ている。	2	
	4	宣伝事業分担金	【目的】 【概要】健保連が一括して行う共同広報事業費及び健康増進共同事業費の分担金	-	-	-	-	-	157ポスターを掲示板に掲載	-	-	1	
	4	特定保健指導の巡回指導	【目的】 【概要】	-	-	-	-	-	実施状況によって、各事業所を巡回予定。 今年度は、必要ありませんでした。	-	-	1	
疾病予防	6	健康電話相談	【目的】指導医による助言 【概要】費用全額負担	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	259相談者14名	健保だより等にて周知	インターネットでの検索により、各自で判断してしまう。	1	
体育奨励	8	ラフォーレ倶楽部の活用	【目的】社員の福利厚生 【概要】法人会員費用の利用	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	<平成29年度> 利用者数 90名	利用者数は、前年より減少しているが、家族の利用が前年より増加している。(初年度の前年は会社関係で団体利用が多かった)	宿泊料金は、低料金だが、食事料金が 高い。 施設の改修や天候により利用者数は影響	1	
その他	8	テニスコート	【目的】 【概要】	-	-	-	-	-	186現在閉鎖中	-	-	1	
個別の事業													
特定健康診査事業	3	メタボリックシンドローム対策	【目的】生活習慣病予防 【概要】生活習慣病健診受診者へのリスク別健康情報の提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	<平成29年度> 本人 受診者数1,867人受診率98.9% 家族 受診者数313人受診率34.5% 合計 受診者数2,180人受診率78.1%	被保険者は事業主が100%実施を目標に実施しており、被保険者の意識も向上している。 被扶養者の受診者も前年と比較し倍増した。巡回健診を実施したことが大きい。(受診内容の充実<婦人科検診を含む>受診場所の選択肢を多くする。被扶養者への直接案内)	被扶養者の受診者も前年と比較し倍増となったが、受診率は、やっと3割台と低い。 さらに受診内容の充実、受診場所の選択肢を多くする。受診動機が重要。	3	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】生活習慣病の予防と改善 【概要】専門機関を利用した特定保健指導の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	全員	<平成29年度> 対象者313人 メタボ率20.6% 実施者48人	平成22年度より実施しており、告知活動により、保健指導の理解者が増えてきている。 重症化予防者も含め実施することで、効率よく実施できた。(特定保健指導対象者が少なく実施が難しい拠点でも、重症化予防者を含めることで人数を確保して実施できた)	千葉県内に各事業所を展開しているため、移動に時間が取られ、1日の実施人数に限られる。保健指導対象者の少ない拠点及び、遠方の拠点の実施に問題が起きている。	1	
疾病予防	3	日帰りドック健診	【目的】疾病の早期発見、自己管理意識向上 【概要】受診費用の一部を助成	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ~ 74	全員	<平成29年度> 本人 受診者数421人 受診率20.1% 家族 受診者数313人 受診率32.1%	グループ内イントラやホームページにてドック健診受診を毎月発信しています。	受診率20%前後と毎年変化なく、健康に対する意識が低すぎる。個人の費用負担もあり、夫婦受診となると健保が負担しても高額になってしまうからか?	3	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	3	脳ドック	【目的】 疾病の早期発見、自己管理意識向上 【概要】 受診費用の一部を助成	被保険者 被扶養者	全て	男女	45 ～ 74	全員	3,063	<平成29年度> 45歳以上隔年 本人 受診者数67人 受診率4.1% 家族 受診者数22人 受診率3.0%	グループ内イントラやホームページにて脳ドック健診受診を毎月発信しています。	脳ドックの受診率は隔年で5%前半で推移している。個人の費用負担もあり、夫婦受診となると健保が負担しても高額になってしまうからか？	1
	3	大腸疾患検査	【目的】 疾病の早期発見、自己管理意識向上 【概要】 受診費用の一部を助成	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	全員	154	<平成29年度> 本人 受診者数11人 受診率0.6% 家族 受診者数1人 受診率0.1%	同上	大便検査で指摘を受けないと、羞恥心と検査前の苦痛に二の足を踏む	1
	3	特定健診	【目的】 疾病の早期発見、自己管理意識向上 【概要】 受診費用の全額を助成	被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	全員	3,568	<平成29年度> 特定健診 受診者0名 巡回健診 受診者146名	被扶養者には、直接巡回健診の案内を送付。婦人科検診を含め、全額健保負担としたこと。	全額健保負担としていますが、健診内容に物足りなさがある	1
	4	保健指導	【目的】 ドック受診者への指導 【概要】 保健師による文書にて指導	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ～ 74	全員	386	ドック受診者で、保健指導対象者に文書による指導、重傷者には電話での指導 年10回 275人	文書指導では回答を求めている重症化予防、受診勧奨対象者には面談・電話にて保健指導を行っている		4
	3	インフルエンザ予防接種補助	【目的】 インフルエンザの感染予防【概要】 予防接種にかかる費用の一部を助成	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	3,288	<平成29年度> 被保険者接種者 687名 被扶養者接種者 962名 接種率27.9%	社内イントラにて実施内容を毎月告知 被保険者については、事業主側の助奨があると増加する	今年で3年目となるが、前年度接種率23.1%に対し、若干増加しているが、関心度は限られている可能性があります。低学年のお子様の家族の接種率が高い。	1
	1	職場救急薬の補充	【目的】 応急処置に備えるため 【概要】 各拠点に無料配布	被保険者	全て	男女	0 ～ -	全員	724	各拠点からの依頼により配布	薬の内容、追加発注等、社内イントラにて掲載	職務担当者の関心度による	4

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
その他		-	-	20				